

あふれる笑顔 みんなが住みやすいまち ハートフルタウンみかわ

令和7年度 三川町町政資料

三川町の概要

町章

(昭和40年1月1日制定)



みかわの「み」の字を図案化し、三つの村ががっちり結び合って躍進する姿を表現しています。

町の花…菜の花

(昭和53年11月4日制定)



春の陽ざしをうけて、うららかに咲きほこる菜の花は、素朴で美しく、田園の町三川にもっともふさわしい花です。

町の木…けやき

(昭和53年11月4日制定)



大地にどかっと根をおろし、風雪に耐え、たくましく、すくすくと伸びる櫟の姿は、堅実な町民性と町の発展を表しています。

1. 地 勢

本町は、山形県の北西部、庄内平野のほぼ中央に位置しており、東西約6.6km、南北約8.7kmで総面積は33.22km²である。北に、最上川を隔てて秀峰・鳥海山を仰ぎ、東には霊峰・月山、湯殿山、羽黒山の出羽三山、南に金峰、母狩の両山を臨み、西には庄内砂丘を隔てて日本海が広がる。

町の中央を赤川が、東には藤島川が、そして、西には大山川が流れ、この三川（さんせん）による豊かな水は大地を潤し、全国でも有数の穀倉地帯を誇っている。

2. 自 然

日本海の海洋気候の影響を受けて、夏は高温多湿で、冬は北西の季節風が激しく、庄内地方特有の地吹雪も発生するが、比較的積雪量は少ない。

四季折々の美しい景観は、肥沃な大地とともに豊かな文化を育んでいる。

3. 交通機関

国道7号三川バイパスをはじめ、主要地方道余目加茂線と庄内空港立川線、藤島由良線、更に一般県道鶴岡広野線、小浜猪子線、東沼・長沼・余目線等の国県道が町を縦横断しており、鶴岡市（8km）、酒田市（12km）、山形市（95km）、秋田市（112km）、新潟市（160km）への連絡が容易である。

本町のすぐ西側には日本海沿岸東北自動車道「庄内空港IC」があり、また庄内の空の玄関口である「庄内空港」があり、ともに車にて約10分でアクセスができる。

また、鉄道は、JR羽越線の鶴岡駅が主要駅になっており車で約15分、酒田駅までは約25分、余目駅までは約15分となっている。さらに、山形県における海の玄関口の重要港湾「酒田港」までは車で約25分となっている。

4. 沿 革

当地方は、江戸時代庄内藩酒井公所領に属し、酒井家13代250年を経て明治維新後、廃藩置県により大泉県に入り、その後酒田県・鶴岡県となり、明治9年に現在の山形県となった。

明治22年の町村制実施により横山村と押切村は東田川郡に、東郷村は西田川郡にそれぞれ属し、明治・大正・昭和と60年の歴史を経て、昭和30年1月1日に東田川郡横山村、押切村、西田川郡東郷村の三村が合併して東田川郡三川村が誕生した。

その後、各種生活基盤の整備が進められ、山形県庄内支庁（現山形県庄内総合支庁）や山形県消防学校などの公共施設が設置されるのを契機に、快適な田園のまちづくりを目指して、昭和43年6月1日に町制を施行し、三川町となった。

現在は、平成24年度に「庄内南部定住自立圏形成協定」並びに平成26年度に「庄内北部定住自立圏形成協定」を庄内地域の市町と締結し、地域住民のいのちと暮らしを守るための連携・協力を行っている。



令和7年度 三川町施政方針と予算



町議会3月定例会で、今年度の町政の基
本となる令和7年度施政方針を阿部誠町長
が示し、予算が決まりました。その内容に
ついてお知らせします。

令和7年度三川町施政方針の概要

本町は、本年1月に、誕生70周
年の節目の年を迎えることができ
ました。さらなる町民の福祉向上
と町政の発展のため、次の時代に
向けた一歩を踏み出し、一層尽力
してまいります。

日本経済は、コストカット型か
ら成長型へ移行する分岐点であ
り、政府は総合経済政策の波及効
果を目指しています。また、イン
フレ等から国民生活を守るため、
生活困窮者支援や燃料費助成など
の施策を講じています。

このような状況において、本町
では、子育て支援の充実と健康・
生きがいづくりの推進、安全・安
心で快適な環境の構築、魅力ある
産業の創出と交流人口の拡大を基
本として、令和7年度当初予算の
編成を行いました。

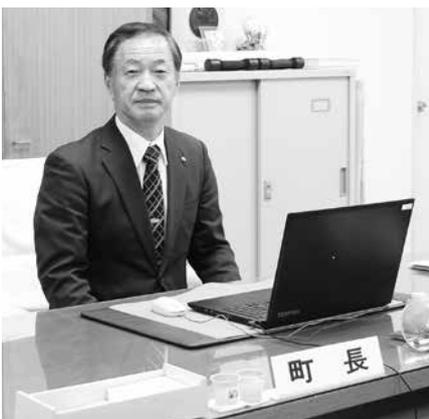
各種事業を着実に実行し、第4
次三川町総合計画に掲げた「まち

の将来像」の実現に向けて、取り
組んでまいります。また、この記
念すべき年を新たな出発点とし
て、町民の皆さまと共に、一人ひ
とりが誇りを持てるまちづくり
に鋭意努めてまいります。

まちの将来像

あふれる笑顔

みんなが住みやすいまち
ハートフルタウンみかわ

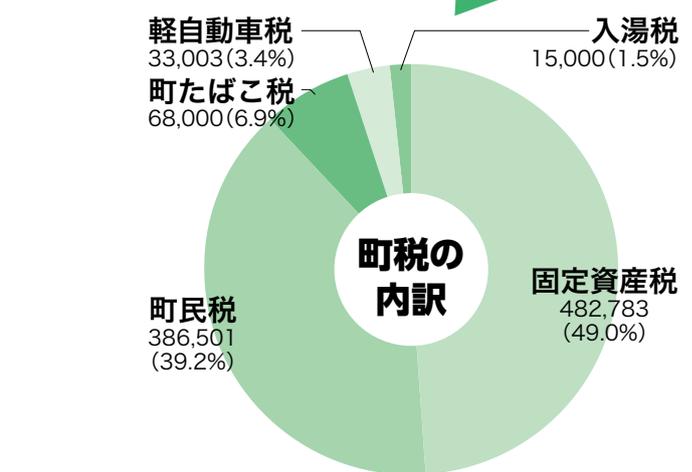
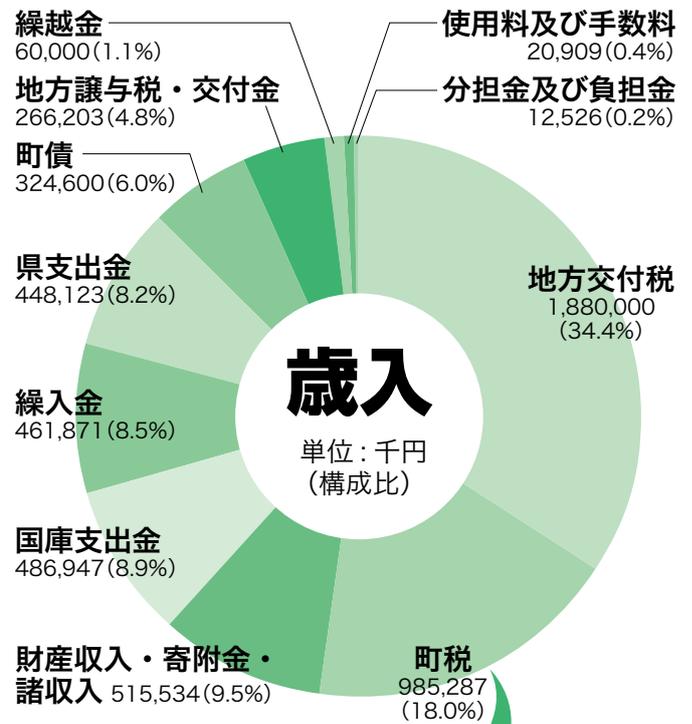
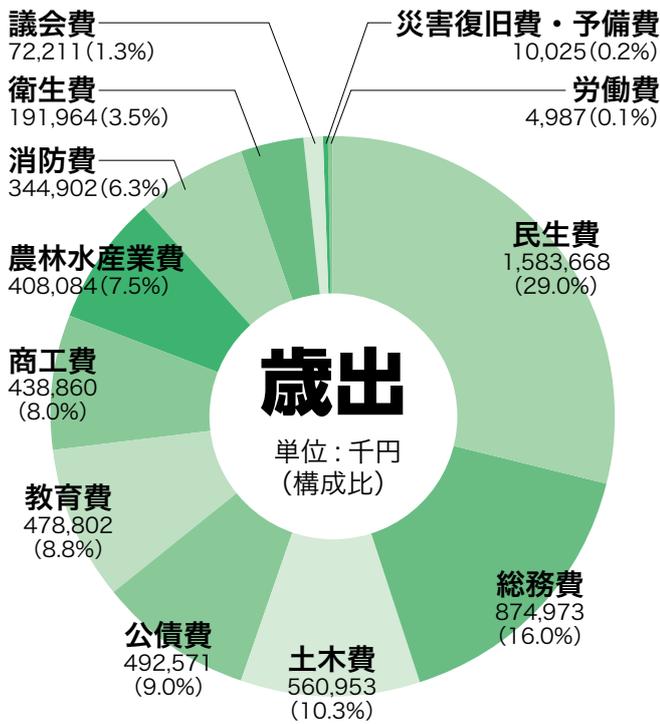


令和7年度町の予算は

54億6,200万円
【一般会計予算:前年度比9.2%増】

本町の令和7年度一般会計予算は、54億6,200万円で、前年度に比べて4億6,000万円の増額(9.2%増)となっています。このうち、第4次三川町総合計画に基づく主要施策を進めていくための事業費として、16億1,370万4千円(前年度比29.7%増)を計上しました。

次ページ以降で、今年度本町が重点的に取り組む施策を、総合計画の基本目標ごとに紹介します。



○基金の状況(令和7年1月1日現在)

財政調整基金	6億4,538万円
減債基金	6,826万円
ふるさと基金	5億2,311万円
温泉施設基金	9,926万円
国際交流基金	1,213万円
リーディングファーマーズ銀行基金	98万円
教育施設整備基金	2億5,822万円
森林環境譲与税基金	340万円

○令和7年度への繰越明許事業の内容

土地改良施設整備事業	277万円
住民税非課税世帯給付金給付事業	580万円
物価高騰家計応援クーポン券発行事業	5,183万円
道路舗装事業	2,670万円

○特別会計予算

国民健康保険	後期高齢者医療	介護保険
6億8,680万円 (0.01%増)	1億1,700万円 (6.0%増)	9億260万円 (1.9%増)

※()内は対前年度比

○企業会計予算

下水道事業
7億7,456万円 (1.8%減)

基本
目標①

将来にわたって活躍できる人を育むまち

ZoomUp

- ・子育て・学校教育
- ・社会教育



▲ベビーピクス

子育て世代の負担軽減

出産祝金や妊婦のための支援給付金の支給と、高校生までを対象とした入院・通院医療費の完全無償化を実施します。

「ふるさと三川に想いをよせ、共に輝きつづける人づくり」を目指した教育活動

ふるさと三川を想う心を育むために、地域の人々との交流、地域の自然や文化に触れる体験学習など、地域に学ぶ活動を実践していきます。また、子どもたちの豊かな人間性と自ら学び考える力を育む教育活動に取り組み、「学び続ける子ども」「いのちを大切にする子ども」の育成に努めます。

主な事業と予算

- ▶学童保育支援事業
…………… 4,890万円
- ▶子育て支援医療給付事業
…………… 3,711万円
- ▶小学校・中学校教育情報化推進事業
…………… 2,297万円
- ▶子育て支援センター事業
…………… 2,203万円

町民のニーズに沿った生涯学習

子育て交流施設テオトルや文化交流館（アトク先生の館）などの施設が持つ魅力を最大に生かしながら、適切な管理運営に努めます。また、誰もが心豊かで健康的な生活を送ることができるよう、町民のニーズに沿った事業を実施し、生涯各時期に応じた学習機会や発表の場を提供します。

スポーツ振興

スポーツ協会やスポーツクラブなどの関係団体と連携しながら、誰もがスポーツやレクリエーションを楽しめる環境づくりを推進します。

基本
目標②

いつまでも健康で安心して暮らせるまち

ZoomUp

- ・健康福祉・社会保障
- ・防災



▲健幸プロジェクト(足育講座)

地域共生社会の実現に向けて

関係機関との連携を図りながら、地域福祉を総合的、かつ計画的に推進します。また、高齢者世帯の増加を踏まえ、日常生活支援や在宅介護サービスなど、個々の生活実態に合わせた多様なサービスを提供します。

健康寿命の延伸と健康格差の縮小

「第3次三川町健康づくり計画」のもと、健康寿命の延伸と健康格差の縮小を目標に、生活習慣病の予防やこころの健康づくりなどに取り組みます。また、特定健診や各種がん検診の受診勧奨に努め、早期の疾病予防や重症化予防について、個別の状況に合わせた保健指導を行います。

主な事業と予算

- ▶常備消防事務委託事業
…………… 2億8,358万円
- ▶社会福祉法人等支援事業
…………… 2,400万円
- ▶健康増進事業
…………… 1,643万円
- ▶消防ポンプ整備事業
…………… 818万円

地域防災力の強化

自然災害の頻発化や激甚化に対応するため、危機管理体制の整備に取り組みます。また、町内会の自主防災会の災害への意識醸成を図るとともに、避難所運営における町と町民の役割分担を明確にし、その共通理解を深めながら地域の防災力の強化に努めます。

基本
目標③

創造力にあふれ豊かさを実感できるまち

ZoomUp

- ・産業振興・観光振興
- ・地域交流



▲来場者でにぎわういろり火の里

農業所得の向上

燃油・資材費等の高止まりなど、農業を取り巻く状況が依然として厳しいことを踏まえ、農業所得の確保と生産性の向上を目指した農業振興策を継続し、生産コストの縮減や土づくりなどを支援します。

地域経済の活性化

地域経済の活性化と物価高騰対策のため、クーポン券発行事業に取り組みます。また、中小企業者を対象に、創業支援および経営強化支援を継続するとともに、新たな商品開発などの取り組みを支援します。

主な事業と予算

- ▶「いろり火の里」推進事業
…………… 1億1,250万円
- ▶物価高騰家計応援クーポン券発行事業
…………… 5,183万円
- ▶中小企業等振興支援事業
…………… 4,298万円
- ▶地域農業担い手育成推進事業
…………… 1,857万円
- ▶観光対策事業
…………… 1,062万円

交流人口・関係人口の拡大

三川町観光協会が開催する春の菜の花まつりや秋のイベントなどを通して、にぎわいの創出と地域経済の活性化を図ります。

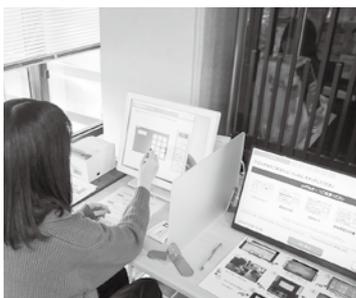
また、いろり火の里施設について、利用者の利便性向上と施設環境の改善のための施設改修を実施するとともに、関係機関と連携したイベントなどによる集客を図りながら、交流人口・関係人口の拡大に努めます。

基本
目標④

未来に向かって継続し発展するまち

ZoomUp

- ・住環境整備・町民参画
- ・行財政改革



▲役場窓口手続きのデジタル化

産業団地造成

三川町土地開発公社による「みかわ産業団地」の第4期造成工事を円滑に進め、進出企業の確保に向けた誘致活動を展開し、雇用機会の創出を図ります。

インフラ整備

町民の快適で安全・安心な暮らしを目指し、生活基盤となる道路や橋梁、下水道などのインフラ施設の整備と、自然と調和した住環境の保全に取り組みます。

主な事業と予算

- ▶電子自治体推進事業
…………… 1億9,127万円
- ▶道路舗装事業
…………… 1億1,158万円
- ▶住まいづくり支援事業
…………… 1,740万円
- ▶地域づくり活動推進事業
…………… 1,249万円

協働のまちづくりを推進

町長と語る会などの広聴活動を通して提言の機会を確保しながら、協働によるまちづくりを推進します。

町民の利便性向上へ

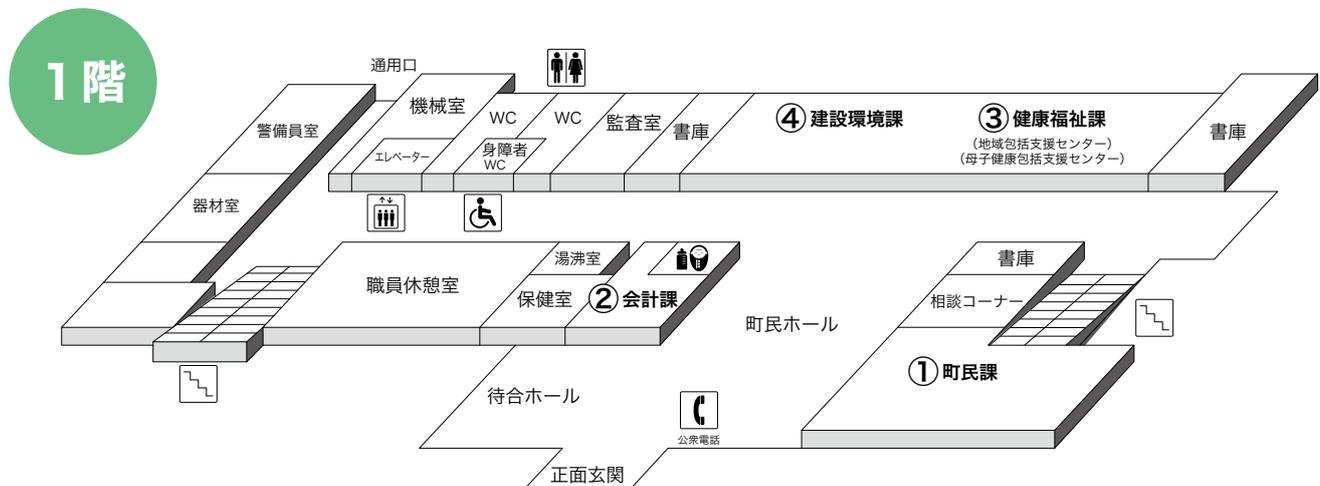
身近な行政サービスを提供する基礎自治体として、「三川町DX推進計画」に基づき、行政事務のデジタル化や、手続きのオンライン化を進め、町民の利便性の向上とともに、事務の効率化に取り組みます。

行政機構(庁舎ご案内)

三川町役場 (〒 997-1301 三川町大字横山字西田 85)

☎ 0235 - 66 - 3111 (代)

①町民課	住 民 係 ☎ 35 - 7025	戸籍・住民登録、諸証明書発行、国民年金、人権擁護、日本赤十字社関係
	税 務 係 ☎ 35 - 7026	住民税、固定資産税、軽自動車税
	国保納税係 ☎ 35 - 7027・7028	国民健康保険、後期高齢者医療、 ⑦(身)⑧(親)医療証、納税相談
②会計課	出 納 係 ☎ 35 - 7037	公金収納・支払い
③健康福祉課	福 祉 介 護 支 援 係 ☎ 35 - 1737・7030	生活保護、障害者福祉、介護保険
	健 康 係 ☎ 35 - 7032・7033 (母子健康包括支援センター)	母子保健、予防接種、 各種検診・健康診査
	地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー ☎ 35 - 7031	介護予防、認知症対策、ケアマネジメント、 在宅医療介護、高齢者総合相談
④建設環境課	建 設 係 ☎ 35 - 7035	道路・橋梁・公園維持整備、 防雪・除雪対策、公営住宅、 住まいづくり支援、空き家対策、 都市計画
	環 境 整 備 係 ☎ 35 - 7036	一般廃棄物(ごみ)、環境保全対策、 地球温暖化防止対策、下水道事業



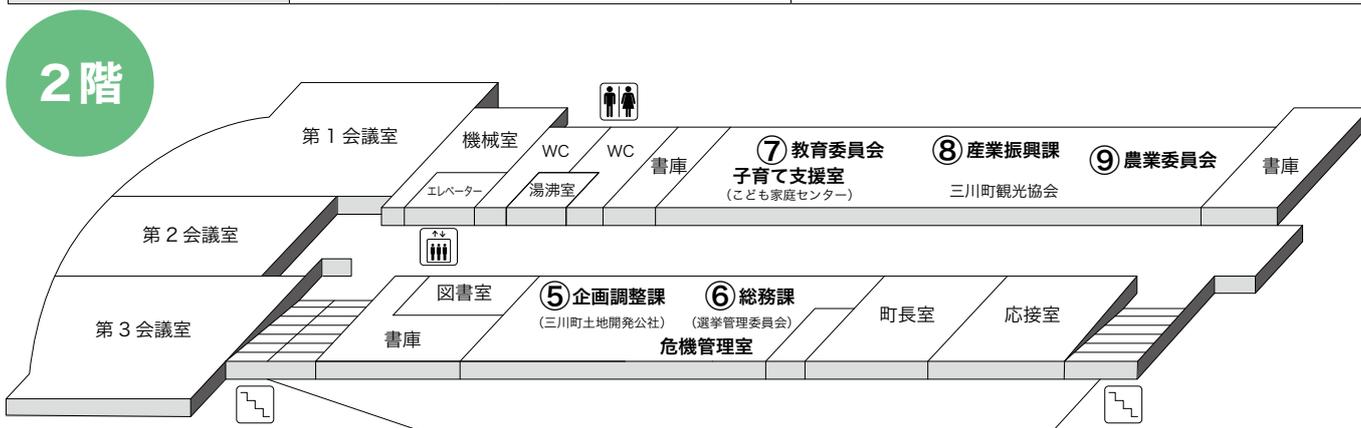
町の施設(施設利用ができるもの)

(三川町大字～)

三川町公民館	☎ 66 - 4403	横山字西田 52-1
町民体育館・町民グラウンド	☎ 66 - 4485	横山字堤 105-5
勤労者体育施設(テニスコート)	☎ 66 - 4485	押切新田字豊秋 258 番地 4
社会福祉センター	☎ 66 - 4410	横山字西田 85-2
屋内多目的運動施設「アスレなの花」	☎ 66 - 5210	横山字堤 215
子育て交流施設「テオトル」	☎ 64 - 8310	押切新田字桜木 8-1
文化交流館「アトク先生の館」	☎ 66 - 5040	押切新田字三本木 118
赤川河川緑地ふれあい広場「パルク赤川」	☎ 35 - 7035*	青山字外川原 8-1

*かまど施設の利用申請は☎ 66 - 5088(三川町シルバー人材センター)へ

⑤企画調整課	企画調整係 ☎ 35 - 7013	まちづくり、広報・広聴、統計、公共交通（デマンドタクシー）
	開発係 ☎ 35 - 7013 (土地開発公社)	地域開発、いろり火の里、企業誘致
⑥総務課	総務係 ☎ 35 - 7009 (選挙管理委員会)	人事・庁舎管理
	財政係 ☎ 35 - 7011	財務・財産管理、入札、契約
⑥危機管理室	危機管理係 ☎ 35 - 7010	防災、防犯、消防、交通安全
⑦教育委員会 教育課	学校教育係 ☎ 35 - 7022	小・中学校、就学援助、奨学金、教育相談
⑦子育て支援室	子ども支援係 ☎ 35 - 7023	保育園・幼稚園、子育て支援センター、学童保育
	家庭支援係 ☎ 35 - 1707 (こども家庭センター)	出産祝金・児童手当、子育て相談
⑧産業振興課	農政係 ☎ 35 - 7017・7018	農業振興、農政対策、土地改良
	商工観光係 ☎ 35 - 7015	商工業振興、労政、観光
⑨農業委員会	総務係 ☎ 35 - 7019	農地業務、農業者年金、制度資金



役場3階	議会事務局 ☎ 35 - 7039	議事運営、監査書記
子育て交流施設 テオトル内	教育委員会 教育課 ☎ 64 - 8310 社会教育係	生涯学習、文化財、図書、青少年、スポーツ、施設貸出運営

町立の教育機関

みかわ保育園・幼稚園	横山小学校	東郷小学校	押切小学校	三川中学校
☎ 66 - 5400	☎ 66 - 2214	☎ 66 - 4111	☎ 66 - 2421	☎ 66 - 3117

園児・児童・生徒数	保育園・幼稚園・認定こども園等園児数				小学校児童数				中学校生徒数(人)
	保育園(人)	幼稚園(人)	認定こども園(人)	合計(人)	横山小学校(人)	東郷小学校(人)	押切小学校(人)	合計(人)	
令和6年	140	54	55	249	159	141	121	421	204
令和7年	128	54	68	250	156	125	124	405	196

※保育園・幼稚園・認定こども園等園児数は、各年4月1日現在の人数 ※小学校児童数・中学校生徒数は学校基本調査（各年5月1日の人数）



三川町民憲章

●各種相談のご案内

わたくしたちは、この憲章を道しるべとし、
美しい三川の自然をまもり、田園の町づくりにつとめます。

- 1 ふるさとを愛し、川も緑もきれいな町にしましょう。
- 1 きまりを守り、心のふれあう明るい町にしましょう。
- 1 たがいに助け合い、しあわせな住みよい町にしましょう。
- 1 健康で働き、ゆたかでいきいきとした町にしましょう。
- 1 教養を高め、文化の薫るのびゆく町にしましょう。

内 容	日 時	場 所	備 考
◆農家相談 (農地の売買、賃貸借等)	月～金曜日 (祝日、年末年始を除く) 8:30～17:00	三川町農業委員会 (役場内)	三川町農業委員会 ☎35-7019
◆子育て相談		三川町子育て支援センター (子育て交流施設テオトル内)	三川町子育て支援センター ☎64-8335
◆教育相談 (いじめ、不登校、体罰等)		三川町教育委員会教育課 (役場内)	三川町教育委員会教育課 ☎35-7005
◆心配ごと相談		三川町社会福祉センター	三川町社会福祉協議会 ☎66-4410
◆母子健康相談 (妊娠、出産)		三川町こども家庭センター (役場内)	健康福祉課 健康係 (母子健康包括支援センター) ☎35-7033
◆子育て家庭の 困りごと相談 (ヤングケアラー等)			子育て支援室 家庭支援係 ☎35-1707
◆高齢者総合相談		三川町地域包括支援センター (役場健康福祉課内)	三川町地域包括支援センター ☎35-7031
◆障害者相談	サポートセンター あおぞら (酒田市北新橋)	サポートセンター あおぞら ☎0234-22-9980	
◆ひきこもり相談	毎月の第4月曜日 13:30～15:30	三川町公民館	特定非営利活動法人 一步 ☎24-1819
◆人権相談	6・9・12・3月の 第1火曜日 13:30～15:30	三川町公民館	役場町民課 住民係 ☎35-7025
◆行政相談			役場企画調整課 企画調整係 ☎35-7013

町民課窓口ナイトサービスをご利用ください

町民課では、毎月第2・第4金曜日の19:00まで、住民票や所得証明書等の交付のほか、各種町税や保険料の収納を行っています。お気軽にご利用ください。

防災行政無線をもう一度聞きたい場合

防災行政無線の内容を確認したい方は☎68-0120までお電話ください。

友好都市

アメリカ合衆国マクミンビル市 (H6.8.2 締結)

住みよい町をつくる宣言・条例

- ・非核平和の町宣言 …………… S60.3.18
- ・美しいまち三川をつくる環境条例制定 …………… H7.3.17
- ・三川町障害を理由とする差別解消の推進に関する条例 … R3.3.24



三川町P Rキャラクター
みかわん